

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域の拠点となる施設の整備				No.	5	①	-	1	具体的な施策	地域の拠点となる施設の整備						No.	5	①	-	1	
事業名	JRの3駅及び周辺地区の活性化				担当課	都市整備課					指標名	地域拠点施設整備件数						目標値				
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
	4	3	3	B	拡大・充実						件	0件	1件	1件	2件	2件	5件					
当面の課題	3駅いずれも供用開始後20年以上を経過しており駅前広場の形状や各公共施設等が老朽化しており、安全面を含め利用者のニーズに対応しておらず早急なリニューアルが必要です。官民連携により整備を行ないたいが民間事業者と行政で事業の進め方にタイムラグが生じる場合が多々あります。勝沼ぶどう郷駅に関しては、JR、JAフルーツ山梨、ぶどうの丘といった企業があり関連省庁においても国交省、農水省と多岐にわたるため調整に時間がかかることです。										指標名							目標値				
課題解決のための改善計画	各企業と関連省庁と密に連携をとり各事業メニューに時間差がないよう、また、十分な周知と説明を行い地域コンセンサスを得ること。										KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
担当課長の総括意見	公共交通の拠点、まちづくりの拠点として、今後の甲州市の将来に大きく影響を与えるであろうことから、官民を上げソフト、ハード両面からの集中的なご入札、交通網整備、住宅地の開発などが必要である。都市計画と文化財の有効活用、観光事業との連携など市の総力を結集して取り組む必要がある。										指標名							目標値				
											KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
事業名	学校基本構想・基本計画策定				担当課	教育総務課					当該年度の評価・課題等											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					本年度までのKPIについては、未達成であった。 各事業の課題については、JRの3駅及び周辺地区の活性化では、官民連携により整備を行ないたいが民間事業者と行政で事業の進め方にタイムラグが生じる場合が多々あり、勝沼ぶどう郷駅に関しては、JR、JAフルーツ山梨、ぶどうの丘といった企業があり、関連省庁においても国交省、農水省と多岐にわたるため調整に時間がかかる。学校基本構想・基本計画策定では、学校施設全体を中長期的に整備するための整備方針を定めた「甲州市立学校施設整備計画」を平成30年3月に策定した。本市の財政規模に見合った保有面積に縮減しながらの整備が求められているため、学級・学校規模の適正化を図りながら、学校を地域コミュニティの拠点となるよう公共施設の複合化も検討し、将来の地域と学校の在り方を検討していく。 学校施設の複合化を推進するために、地域住民のニーズや意見を十分に反映しながら、全庁的に検討していく体制づくりが必要である。また、学校統廃合についても将来的な児童・生徒数の推移を踏まえつつ、地域コミュニティの拠点であることに配慮しながら、検討していく組織を立ち上げていく必要がある。 学校施設は児童・生徒が多く時間を過ごす場所であり、安心安全で快適な教育環境の整備が求められます。また、少子化に伴い、児童・生徒が減少する中で、学級・学校規模の適正化を図りながら、より良い教育環境の整備や地域コミュニティの拠点として学校施設の更なる充実を図っていきます。また、学校の統廃合や複合化を検討していく中で、地域住民のニーズや意見を反映できるよう組織を立ち上げて検討していきたい。												
	5	3	4	B	現状維持																	
当面の課題																						
課題解決のための改善計画																						
担当課長の総括意見																						
事業名					担当課						計画の方向性											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					JRの3駅及び周辺地区の活性化については、公共交通の拠点、まちづくりの拠点として、今後の甲州市の将来に大きく影響を与えると思われる。官民を上げソフト、ハード両面からの集中的なご入札、交通網整備、住宅地の開発などが必要であり、都市計画と文化財の有効活用、観光事業との連携など市の総力を結集して取り組む必要がある。学校基本構想・基本計画策定については、学校施設の複合化を推進するために、地域住民のニーズや意見を十分に反映しながら、全庁的に検討していく体制づくりの構築、また、学校統廃合についても将来的な児童・生徒数の推移を踏まえつつ、地域コミュニティの拠点であることに配慮しながら、検討していく組織を立ち上げていく。												
当面の課題																						
課題解決のための改善計画																						
担当課長の総括意見																						
事業名					担当課						施策内事業評価の平均値											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					必要性	4.5											
										効率性	3.0											
当面の課題											達成度	3.5										
課題解決のための改善計画											総合評価	B										
担当課長の総括意見																						

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域の活性化対策					No.	5	①	-	2	具体的な施策	地域の活性化対策					No.	5	①	-	2
KPI	事業名	地域活性化に向けた内外人材の積極的な活用と育成の推進				担当課	農林振興課					指標名	地域おこし協力隊受入数					目標値			
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性					KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度			
		4	4	4	B	現状維持						名	3名	3名	1名	3名	3名	3名			
	当面の課題	地域おこし協力隊は3期目を迎え、任期を終えた6名のうち5名は市内に定住し、就業、結婚、出産など地域に根を張って活動している。他1名も山梨市の農家に嫁ぎ農業に取り組んでいる。最大の目標は地域に定住することと考えており、大いに成果は上がっている。現役の協力隊3名も2年目を迎え、市内での就業に向けて準備を進める必要がある。										指標名						目標値			
	課題解決のための改善計画	現在、月一回隊員全員が集まり、情報交換会を開催している。今後、支援機関と市がさらに連携を強化し、任期終了後の生活設計構築に向けて取り組むとともに、地域の課題解決に向け、それぞれが地域おこし活動に取り組むことを支援する。										KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度		
	担当課長の総括意見	隊員は積極的な活動を展開し、任期後に定住に繋がっていることから、継続して実施し、移住事業としての面を強化していく。																			
当該年度の評価・課題等												本年度までのKPIについては、達成であった。地域おこし協力隊は3期目を迎え、任期を終えた6名のうち5名は市内に定住し、就業、結婚、出産など地域に根を張って活動している。他1名も山梨市の農家に嫁ぎ農業に取り組んでいる。最大の目標は地域に定住することと考えており、大いに成果は上がっている。現役の協力隊3名も2年目を迎え、市内での就業に向けて準備を進める必要がある。									
計画の方向性												現在、月一回隊員全員が集まり、情報交換会を開催している。今後、支援機関と市がさらに連携を強化し、任期終了後の生活設計構築に向けて取り組むとともに、地域の課題解決に向け、それぞれが地域おこし活動に取り組むことを支援する。									
施策内事業評価の平均値												必要性		4.0							
必要性												効率性		4.0							
効率性												達成度		4.0							
達成度												総合評価		B							
総合評価																					

地方創生施策評価シート（B）

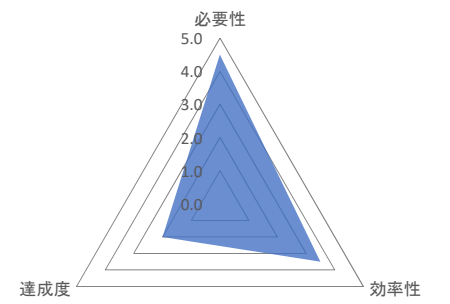
具体的な施策	生活サービス機能の持続と利便性の高いバスの運行	No.	5	②	1	具体的な施策	生活サービス機能の持続と利便性の高いバスの運行	No.	5	②	1			
KPI	事業名	バス運営時刻の適正化			担当課	市民生活課	指標名	バス利用者数				目標値		
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
	当面の課題	4	4	2	B	方法改善		人	136,863人	120,454人	107,592人	111,742人	115,000人	年15万人
	課題解決のための改善計画	平成27年度に策定した「甲州市地域公共交通網形成計画」の基本方針(市街地への公共交通の利便性向上など)に沿った運行となるよう、路線やエリアの見直し、運行時刻の適正化を図っていく。										目標値		
	担当課長の総括意見	平成29年から高齢者福祉施設の閉館等への対応として、デマンドバスのエリアの拡大や変更、また塩山駅到着便の増設を主とした勝沼循環バスのルート変更・縦断線の時刻の適正化を実施したところである。また、市民バス利用促進と高齢者の事故防止を目的に運転免許証自主返納制度も創設した。(平成29年10月から)さらに、利用者の要望等を踏まえてデマンドバスのフリーパス券の発行を開始した。(平成30年12月1日から)今後も利用者ニーズを把握し、改善を図っていく。										目標値		
	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度							
	事業名				担当課		当該年度の評価・課題等							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	本年度までのKPIについては、伸び悩んでいる状況である。未達成。 平成27年度に策定した「甲州市地域公共交通網形成計画」の基本方針(市街地への公共交通の利便性向上など)に沿った運行となるよう、路線やエリアの見直し、運行時刻の適正化を図っていく必要がある。高齢化率の上昇による利用者増よりも、市の人口減少による利用者の減少の影響のほうが勝っている。また、高齢者福祉施設の閉館や観光シーズンにおける民間周遊路線の新設などもあり、バス利用者数が目標値を下回っている現状である。							
	当面の課題													
	課題解決のための改善計画													
	担当課長の総括意見													
	事業名				担当課		計画の方向性							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	平成29年から高齢者福祉施設の閉館等への対応として、デマンドバスのエリアの拡大や変更、また塩山駅到着便の増設を主とした勝沼循環バスのルート変更・縦断線の時刻の適正化を実施したところである。また、市民バス利用促進と高齢者の事故防止を目的に運転免許証自主返納制度も創設した。(平成29年10月から)さらに、利用者の要望等を踏まえてデマンドバスのフリーパス券の発行を開始した。(平成30年12月1日から)今後も利用者ニーズを把握し、改善を図っていく。							
	当面の課題													
	課題解決のための改善計画													
	担当課長の総括意見													
	事業名				担当課		施策内事業評価の平均値							
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	必要性	4.0						
	当面の課題							効率性					4.0	
	課題解決のための改善計画							達成度					2.0	
	担当課長の総括意見							総合評価					B	

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域防災の担い手の確保				No.	5	③	1	具体的な施策	地域防災の担い手の確保						No.	5	③	1
事業名	自主防災組織の育成事業				担当課		総務課		KPI	指標名	自主防災組織結成率						目標値		
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		KPI実績値	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	4	4	5	A	現状維持			%		92%	95%	94%	94%	94%	100%				
当面の課題	自主防災組織の役員間では役割分担が明確化されているが、住民全体には浸透していない。									指標名	消防団員数						目標値		
課題解決のための改善計画	自主防災会会長、長期在任リーダーを対象に防災意識高揚のための研修会を行うとともに、地区資器材の補助を行うことにより、自助、共助の意識の浸透を図る。									KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度		
									名		946名	945名	927名	917名	888名	1,050名			
担当課長の総括意見	災害に対する住民意識が高まり、自助、共助への働きかけが必要となっている。								指標名	防災士数						目標値			
									KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度			
										名	50名	46名	61名	66名	68名	100名			
事業名	地域防災の担い手の確保				担当課		総務課		施策の評価	当該年度の評価・課題等									
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		本年度までのKPIについては、自主防災組織結成率はほぼ達成している。消防団員数は減少傾向で未達成。防災士数は伸び悩んでいる状況であり未達成。各事業の課題については、自主防災組織の育成事業では、自主防災組織の役員間では役割分担が明確化されているが、住民全体には浸透していないと思われる。地域防災の担い手の確保では、消防団組織再編と消防団員確保への対策を検討する必要がある。												
	4	3	2	C	拡大・充実														
当面の課題	消防団員確保対策。 消防団組織再編。																		
課題解決のための改善計画	消防団員定数と実数との乖離を埋めるため、定数条例の改正を行い、実態と合わせた。平成31年4月1日に大和分団において組織再編を行い、9個部から2個部体制となった。																		
担当課長の総括意見	地域住民の生命、財産を守るためには消防団活動はかせない。消防団員の確保に向けて働きかけを行う。																		
事業名					担当課				計画の方向性										
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		自主防災組織の育成事業については、自主防災会会長、長期在任リーダーを対象に防災意識高揚のための研修会を行うとともに、地区資器材の補助を行うことにより、自助、共助の意識の浸透を図る。地域防災の担い手の確保については、消防団員定数と実数との乖離を埋めるため、定数条例の改正を行い、実態と合わせ、平成31年4月1日に大和分団において組織再編を行い、9個部から2個部体制となった。地域住民の生命、財産を守るためには消防団活動はかせないため、消防団員の確保に向けて働きかけを行う。												
当面の課題																			
課題解決のための改善計画																			
担当課長の総括意見																			
事業名					担当課				施策内事業評価の平均値										
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		必要性	4.0											
							効率性	3.5											
当面の課題									達成度	3.5									
課題解決のための改善計画									総合評価	B									
担当課長の総括意見																			

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域防災力の強化					No.	5 - ③ - 2				具体的な施策	地域防災力の強化					No.	5 - ③ - 2			
事業名	地域の防災力強化					担当課	総務課				KPI	指標名	減災協定に基づき防災から減災への啓発・講演会開催数					目標値			
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	5	4	3	B	拡大・充実		KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度		
	回	1回	3回	3回	3回								3回	15回							
当面の課題	避難所ごとの実態に合わせた避難所運営訓練の実施					指標名						耐震診断、耐震改修率					目標値				
課題解決のための改善計画	避難所ごとの運営マニュアルの作成、訓練の実施により、自助・共助の意識を育む。					KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度	令和元年度	平成31年度	100%（年間目標件数の割合）						
							%	54%	15件	4件		15件	27件								
担当課長の総括意見	従前の初期消火訓練や、避難誘導訓練から、より実践的な訓練を行う地域が増えてきている。					指標名										目標値					
KPI実績値						KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度								
事業名	災害に強く市民の生命や財産、安心な暮らしを守るまちづくり					担当課	建設課				当該年度の評価・課題等										
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	4	3	1	C	拡大・充実	<p>本年度までのKPIについては、達成できておらず、耐震診断等については指標の明確さが必要と思われる。各事業の課題については、地域の防災力強化では、避難所ごとの実態に合わせた避難所運営訓練の実施が必要と思われる。災害に強く市民の生命や財産、安心な暮らしを守るまちづくりでは、耐震化が必要であることはある程度理解されるが、住民の高齢化や建物の相続をする予定がないなどの理由により金銭的な負担をしてまで耐震化を行う気にならない者が多数存在する。</p>										
	当面の課題	耐震化の必要性、補助制度の周知。																			
課題解決のための改善計画	耐震化の啓発活動を強化する。																				
担当課長の総括意見	近頃頻発する地震及び風災害から災害への関心は高まっているようだが、金銭的な負担がかかる場合もあるため事業がなかなか進捗しない。特に県から指定された緊急輸送路沿道の建築物は耐震診断が義務化となっているため、さらなる推進が必要である。																				
計画の方向性																					
地域防災力強化について																					
事業名						担当課					施策の評価	施策内事業評価の平均値									
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							必要性	4.5								
	当面の課題													効率性	3.5						
課題解決のための改善計画						達成度	2.0														
担当課長の総括意見								総合評価	B												
必要性																					
効率性																					
達成度																					
総合評価																					



地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策		ふるさとづくりの推進				No.	5 - ④ - 1				具体的な施策		ふるさとづくりの推進						No.	5 - ④ - 1					
KPI	事業名	地区の言い伝えの映像化				担当課		政策秘書課		指標名	情報発信による移住希望者						目標値								
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度										
	当面の課題	ふるさとづくりの推進としての具体的事業として実施してこなかった。ふるさとの伝承については、他の方法を考えるべき。						組	0組						年10組										
	課題解決のための改善計画	関係部署で連携し、誇りあるふるさとへの思いを後世に残す事業を展開するべき。						指標名							目標値										
	担当課長の総括意見	地域住民がふるさに誇りを持つとともに、誇りあるふるさを情報発信し、Uターンへのきっかけとなることは大事だが、本事業以外での実施を行っていく。						KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度										
事業名										担当課		当該年度の評価・課題等													
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		本年度までのKPIについては、達成できていない。ふるさとづくりの推進としての具体的事業として実施していない。ふるさとの伝承については、他の方法を考えるべきと思われる。																		
当面の課題							計画の方向性																		
課題解決のための改善計画							関係部署で連携し、誇りあるふるさとへの思いを後世に残す事業を展開するべきであり、検討が必要。																		
担当課長の総括意見							関係部署で連携し、誇りあるふるさとへの思いを後世に残す事業を展開するべきであり、検討が必要。																		
事業名										担当課		施策内事業評価の平均値													
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性		必要性	1.0																	
当面の課題							効率性	1.0																	
課題解決のための改善計画							達成度	1.0																	
担当課長の総括意見							総合評価	E																	

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	適切な公共施設の管理運営					No.	5 - ⑤ - 1					具体的な施策	適切な公共施設の管理運営					No.	5 - ⑤ - 1				
事業名	人口減少等社会情勢の変化に適切に対応した公共施設の管理運営					担当課	管財課					指標名	公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別管理計画の策定率					目標値					
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	KPI	KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度									
	4	3	3	B	現状維持			%	10%	10%	20%	20%	70%	70%									
当面の課題	前年度課題であった全職員の理解促進については、年度当初に各施設の管理担当課にヒアリングをし、施設別の方針を定めたことで、一定の危機感の共有ができています。全体での更新費用の平準化や10年間の実施事業の選定など実現化計画を作りこみに課題があります。また、計画実施にあたり各施設とも改修の財源に社会資本交付金や地方債を活用し整備されているため、廃止の方針としてあっても、償還中であることから、除却ができず、また、存続している間は、何かしらの改修は必要となることから、財源を措置しなければならず、除却までに長期間を要することが予想されるなど、マネジメントの進捗に関し課題がある。					KPI	KPI実績値						目標値										
課題解決のための改善計画	作業部会及び内部管理課との協議等を密にし、実現可能な計画を作りこむ。							KPI	KPI実績値						目標値								
担当課長の総括意見	年度当初に各施設の管理担当課にヒアリングをし、施設別の方針を定めたことから、職員間でも危機感の共有が少しずつ図られていると感じている。計画を作ることが最終目標ではないため、実現可能な計画に調整したうえで、実施していただきたい。					KPI	KPI実績値								目標値								
事業名								担当課						当該年度の評価・課題等									
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性						本年度までのKPIについては、達成であった。前年度課題であった全職員の理解促進については、年度当初に各施設の管理担当課にヒアリングをし、施設別の方針を定めたことで、一定の危機感の共有ができたが、全体での更新費用の平準化や10年間の実施事業の選定など実現化計画を作りこみに課題がある。また、計画実施にあたり各施設とも改修の財源に社会資本交付金や地方債を活用し整備されているため、廃止の方針としてあっても、償還中であることから、除却ができず、また、存続している間は、何かしらの改修は必要となることから、財源を措置しなければならず、除却までに長期間を要することが予想されるなど、マネジメントの進捗に関し課題がある。												
当面の課題																							
課題解決のための改善計画																							
担当課長の総括意見																							
事業名						担当課						計画の方向性											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性						作業部会及び内部管理課との協議等を密にし、実現可能な計画を作りこむ。計画を作ることが最終目標ではないため、実現可能な計画に調整したうえで、実施していく必要がある。												
当面の課題																							
課題解決のための改善計画																							
担当課長の総括意見																							
事業名						担当課						施策内事業評価の平均値											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性						必要性	4.0											
当面の課題											効率性	3.0											
課題解決のための改善計画											達成度	3.0											
担当課長の総括意見											総合評価	B											

